

<活動の様子>

第1回目

「愛着を育むということ

一時に躓くことがあってもー」

講師：藤田みどり氏（保健師）



第2回目

「発達の大きな流れの中での支援」

講師：小野啓子氏（臨床心理士）・
平山真美江氏（児童指導員）



第3回目

「周囲のかかわりが

子どもの育ちを左右する」

講師：今井典子氏
（駄菓子屋堂 in ひがし野）



第4回目

「特別支援教育の現場から」

講師：吉松靖文氏
（愛媛大学教育学部）



第5回目

「学童期の遊びと発達について」

講師：山本良子氏
（日本冒険遊び場づくり協会
四国運営委員）



第6回目

「子どもたちに潜む精神疾患」

講師：徳田美保氏（精神保健福祉士）



第7回目

「その子らしさって何？」

障がいと上手く付き合うコツ」

講師：安原優子氏
（NPO法人ふちすてっぷ理事）



第8回目

「心つなげて発達支援

～構成的グループ・

エンカウンターの手法で～」

講師
渡部涼子先生氏（上級教育カウンセラー）・
中野由紀子氏（中級教育カウンセラー）



事業名「発達支援について考える」学習&交流会

<目的>

- ・子ども達の発達状況に応じた支援のあり方を学ぶ
- ・子育て支援者自身のネットワークづくり。



<事業内容>

- ・発達支援を共通テーマに 9月から 3月にかけて、全8回に分け一回 3時間程度の学習&交流会を開催した。
- ・各回とも様々な分野から発達支援に携わっている専門家をお呼びした。・各回の副題と講師は左記の通り。
- ・参加対象者は保護者や子育て支援関係者または関心のある方
- ・参加費は、一般 1000 円、会員 500 円

この事業を通して、子育て支援に関わる方または保護者など、みんなが支えあって子育てやその支援ができる活きたネットワークづくりのお手伝いが微力ではあるが、出来た様に思う。子育てにおいて、仲間作りは、子育ての孤立化を防ぐ効果があると共に発達に応じた支援につながり児童虐待予防にも効果的であることの再確認ができた。当団体としても、地域で果たすべき方向性の再確認と共に、その活動が続けることが、保護者含め支援者の孤立を防ぎ、抱え込まない子育てに微力ながらも貢献できるのではと感じ取ることが出来た。

<市民の参画や他団体との連携>

- ・後援：教育委員会・社会福祉協議会
- ・講師依頼の際には、福祉仲間や、精神保健福祉士のご協力を頂いた。
- ・広報活動においては、まつやまNPO サポートセンターの市民活動配送便を活用。
- ・ボランティアセンターを積極的に活用した。おせったい通信への掲載、印刷機の活用。
- ・さらに今年度は積極的に社会福祉士会やチャイルドオレンジネットワークなどの専門職や子育て支援者向けのメーリングリストにも情報提供が出来た。



<市民に対するPR>

NPO 自立サポートネットゆうは、今後も子育て支援を中心に、地域で一人ひとりが誰一人孤立することなく、住みなれた地域で安心して共に暮らし、共に学べ、豊かな人間性を育み生きる力を身に付けていくことのできる社会(共生社会)を目指して活動します。主な活動としては、味生地区を活動拠点として、学習サポートや子どもの居場所作り、教育相談や福祉相談、支えあいの輪づくりに取り組んでいます。随時、活動にご協力していただける方を募集していますので、ご興味のある方は、ぜひお気軽にお声をかけてください。ネット上でも各種情報公開しています。まだまだ未完成ではありますが、下記を参考にどうぞ。

フェイスブック：<https://www.facebook.com/tannpopo>

ホームページ：<http://jirituyuu.web.fc2.com/>

団体 ブログ：<http://jirituyuu.blog.fc2.com/>

ツイッター：<https://twitter.com/hmituko>

